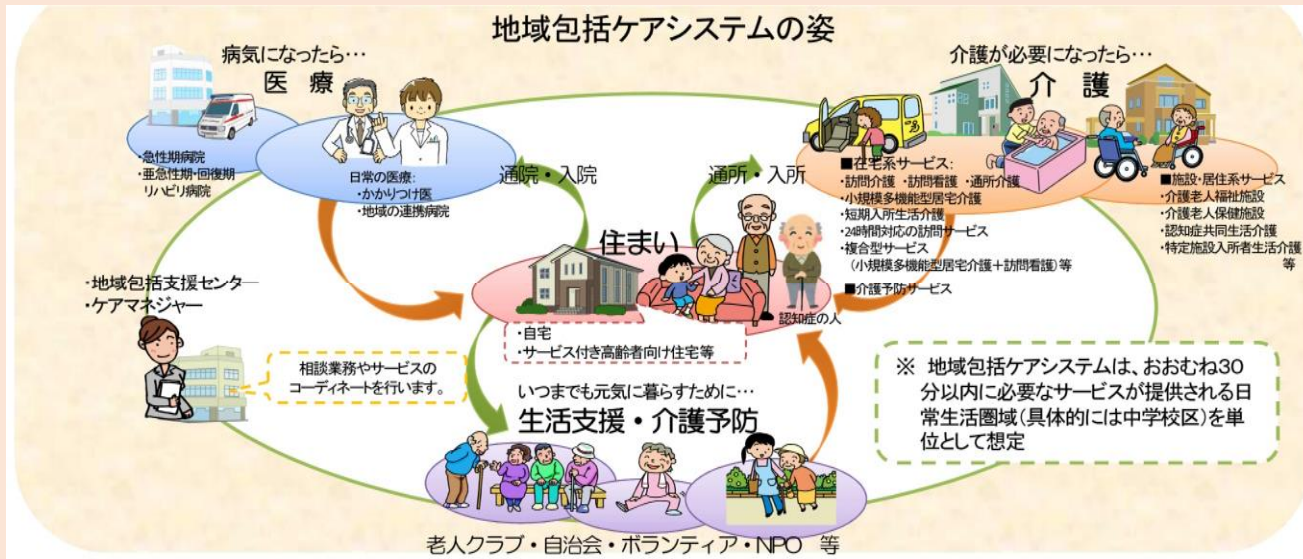


ICTを活用した地域情報伝達システムの構築ご提案



生活の中に溶け込む、
デジタル社会の実現
(DX)

費用の安い、地元の地産地消の情報化を実現
を目指す



ICTを活用した地域情報伝達システムの構築

背景・課題・活性化の方針等

南相馬地域

この地域は、超少子超高齢社会で、人口減少の進行スピードが速く、出生数の低下が著しい環境地域情報通信基盤施設

すでに整備されている地域情報
基盤網を活用し、全世帯にネットワークを整備する。

地域情報伝達システム取り組む内容

高齢者を地域で支える環境作り

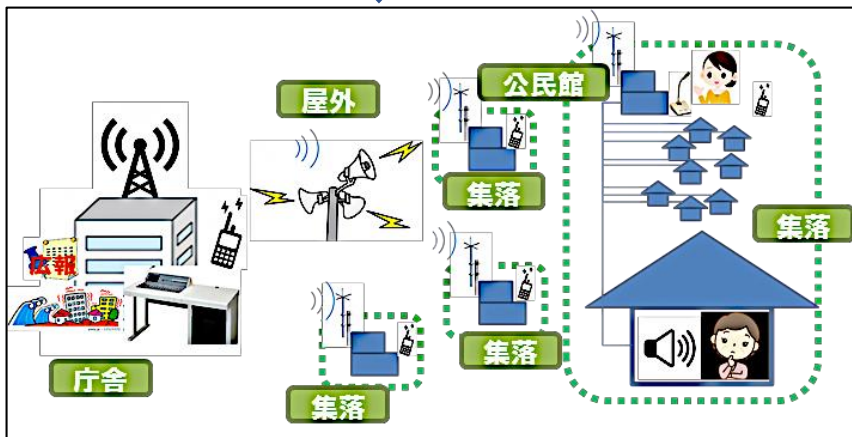
高齢化が進展し一人暮らしの高齢者、交通手段を持たない買い物困難者の増加が懸念される。**生活支援**や**医療支援**、**見守りシステム**を整備し安心して暮らせる**生活インフラを整備**する。また、緊急時、行政からの連絡、広報を確実に伝達できるようにし、**安否確認**を容易にする。
高齢者でも操作が簡単な、家庭用TVに接続するセットアップBOXを全家庭に配布し、情報端末として活用する。



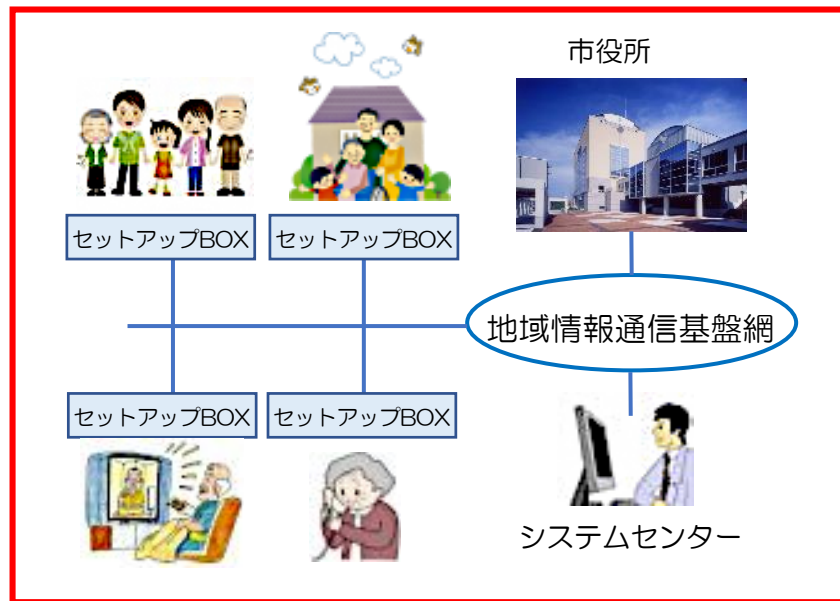
有線放送の重要な役割

地域では、自治会ごとに有線放送施設等を整備し集落内の情報伝達手段とされ、防災上重要な役割を担っており、市の防災行政無線とも連係されており、地域住民の安全・安心な暮らしを支える基盤設備となっている。

音声のみ(一方向)



音声
文字情報
静止画像
動画
(双方向)



すでに整備されている地域情報基盤網を活用し、全世帯にネットワークを整備する。各家庭にセットアップBOX(端末)を設置し、有線放送に相当するブロードキャストの他に安否確認など、双方向通信を可能とする。

現行の有線放送網をインターネット回線に置き換える。

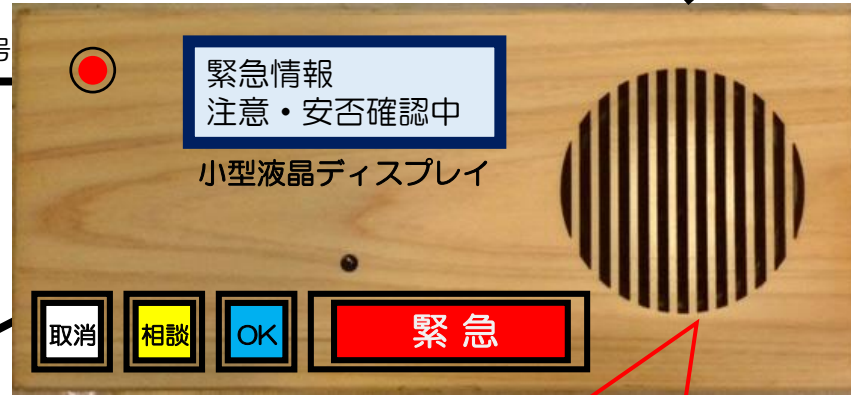
ICTを活用した地域情報伝達システムの構築

家庭用TV 画像表示



HDMI
または
ビデオ信号

地域情報通信基盤網



温度センサー
湿度センサー
音声通知
安否確認



補助操作用リモコン

相談ボタン

生活支援
健康支援
相談など

緊急ボタン

身体の不調
突然本人や家族の
状態が悪くなった
場合「どうしよう」
に対応

音声 スピーカー

緊急情報、緊急情報！
各地区に暴風雨警報が発令されました。
TVを付けて情報を確認下さい。
今後は市からの情報に注意して下さい。
ご家族や家屋に異常がある場合は、本体の
赤い緊急ボタンを押して下さい。問題ない
場合は青いOKボタンを押して下さい

ICTを活用した地域情報伝達システムの構築

高齢者・独居高齢者の見守りシステム（オプション）

医療支援、見守りシステムを導入し安心して暮らせる生活インフラを整備する



スマートフォンと小型ロボットあるいは小型ロボット同士を介して、双方向TV通話通信で双方がコミュニケーションを取り、日々の安否確認ができます。これによって、遠隔地から見守りを行うことができます。



一人暮らしのお年寄りに必要なのは日々の安否確認

定期連絡、服薬指導、音声認識を利用した文字入力など、高齢者でも使いやすいシステム

ICTを活用した地域情報伝達システムの構築

ICTを活用した在宅医療の推進（オプション）



期待される効果

既存のブロードバンド回線の活用が可能

- ・ 有線放送に代わる、10年以上対応のできるネットワーク通信技術の導入
- ・ 現在、光ネット通信でブロードバンド通信とケーブルテレビは敷設済み。

既存有線放送の代替手段としての防災・広報通信機能の搭載

- ・ 防災・防犯・災害・行事など行政の情報を迅速にかつ同時に流すことが可能
- ⑩実現するには既存のシステムを調査し可否の確認が必要。

災害時の情報収集が可能

- ・ 安否確認や避難確認などが迅速に容易に把握できる。
- ・ セットアップボックスで対象世帯が安否・避難情報に応答し、コンピュータ操作ができなくとも、高齢者も容易にボタン操作を行うことで、行政側は瞬時に安否確認集計が可能。

医療・介護サービスへの拡張が可能

- ・ 健康寿命を延ばす、健康予防活動の実現およびマンパワーの軽減
- ・ 見守りロボットや健康状態を把握するセンサー及びビックデータの提供
- ・ 保健師・看護師・介護士不足、働き方を軽減する
- ・ 常時健康状態を把握し、異常データの通知管理を行う 医療費・介護費の縮減効果を目指す。

システム構築期間・費用等

構築・導入方法

- ・モデル地域で開発・運用・維持方法などを検証しながら進めた方が良いと考えます。

構築期間

- ・1年目～:プロトタイプ期間(モデル地域を限定して開発・運用)
- ・2年目～:本稼働期間(南相馬地域全域)

費用

⑩初期費用

- ・構築費用 :調査・企画・プロトタイプ開発費用含む
- ・機器費用 :セットアップボックス・見守りロボット(オプション)・センサー(オプション)
- ・インフラ費用 :現行のインフラを使うことを前提
- ・諸経費 :宿泊・交通費など

⑩継続費用

- ・ネットワーク利用料
- ・システム利用料等